

(仮称)尾花沢市統合小学校建設工事実施設計(概要版)



令和6年9月現在

(仮称)尾花沢市統合小学校建設概算事業費説明資料

1. 事業概要

(1) 令和9年4月開校 児童数:440人 学級数:17

(2) 敷地面積:34,827.93㎡

(うち、建築面積:4,680.93㎡、グラウンド:10,763.00㎡、舗装:15,236.00㎡、ビオトープ等:4,148.00㎡)

(3) 延床面積:9,658.00㎡

①校舎棟:鉄筋コンクリート造 4,890.67㎡

(うち、調理場315.50㎡)

②交流棟:木造一部鉄骨造 1,439.67㎡

(うち、多目的ホール(地域開放) 355.46㎡、放課後児童クラブ 452.34㎡)

③体育館棟:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2,544.24㎡

④プール・付属棟:鉄筋コンクリート造 783.42㎡

(4) 設備の工夫

①個別空調とペレットボイラーによる床暖房

②体育館の電気冷房とペレットボイラーによる床暖房

③停電時は避難所に必要な電灯やコンセント等とEV稼働を24時間可能とする自家発電機の設置

④地中熱ヒートポンプによる庇及び渡り廊下下の路面融雪

⑤屋根の雪下ろしを不要にし落雪事故を防ぐ電気による屋根融雪

2. 概算事業費及び財源計画

(1) 概算事業費内訳(令和6年8月時点)

区分	面積	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	1㎡当単価
校舎棟 (調理場含む)	4,890.67		11.3億円	16.9億円		28.2億円	576,608円/㎡
交流棟 (放課後児童クラブ含む)	1,439.67		4.5億円	6.9億円		11.4億円	791,848円/㎡
体育館棟	2,544.24		4.7億円	7.1億円		11.8億円	463,793円/㎡
付属棟・プール	783.42		1.2億円	1.8億円		3.0億円	382,936円/㎡
小計	9,658.00		21.7億円	32.7億円		54.4億円	563,264円/㎡
造成工事	34,827.93	3.1億円				3.1億円	8,901円/㎡
グラウンド	10,763.00			1.0億円		1.0億円	9,291円/㎡
外構工事 (舗装・植栽・遊具等)	19,384.00			1.3億円	1.9億円	3.2億円	16,508円/㎡
合計		3.1億円	21.7億円	35.0億円	1.9億円	61.7億円	

(2) 財源内訳

区分	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
国庫支出金		5.1億円	12.0億円		17.1億円
基金繰入金		3.0億円	4.0億円		7.0億円
地方債(過疎債)	3.1億円	13.6億円	19.0億円	1.9億円	37.6億円
一般財源					0.0億円
合計	3.1億円	21.7億円	35.0億円	1.9億円	61.7億円

(3) 地方債に係る地方交付税措置額と市の負担額

地方債返済額	①	37.6億円
国から地方交付税として補填される額(過疎債の7割)	②	26.3億円
市が負担しなければならない額(過疎債の3割)	①-②	11.3億円

償還期間を30年と仮定すると、市の毎年の負担額は約3,760万円となります。

3. 建設物価 建築費指数《平成27年基準》

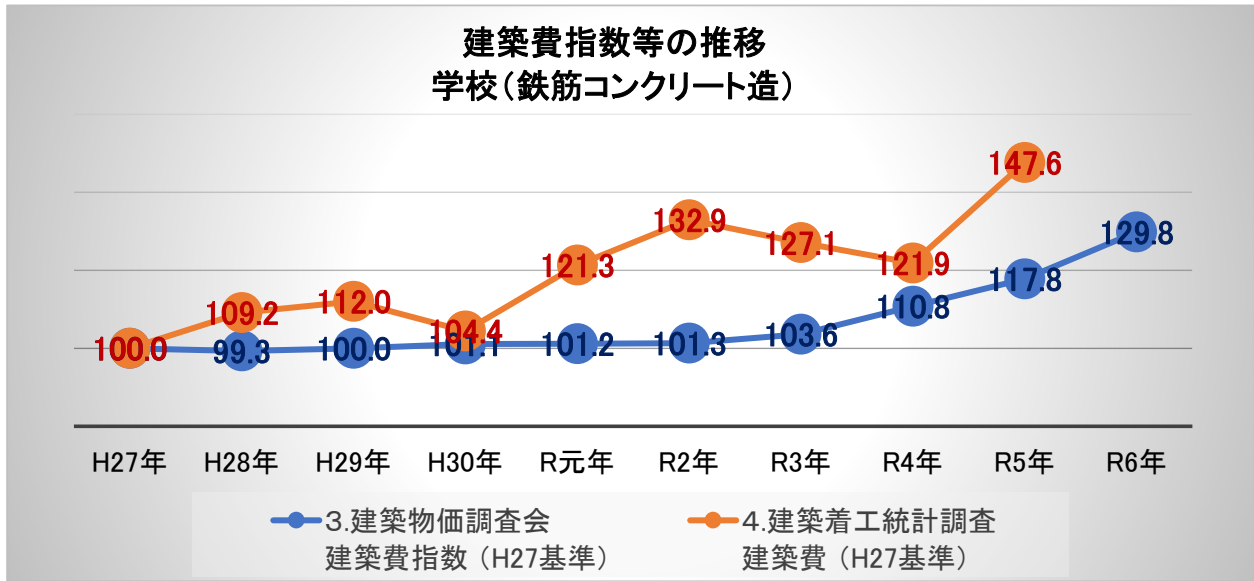
建築種類:学校(鉄筋コンクリート造)

(出典:建築物価調査会 総合研究所)

4. 建築費推移《平成27年基準》

建築種類:学校(鉄筋コンクリート造)

(出典:建築着工統計調査 国交省)



5. 学校建設等工事の事例(令和6年度発注)

学校名	事業年度	学級数	延床面積	工事費	摘要	1㎡当単価
尾花沢市新庁舎建設	H29~30		4,832.85㎡	26.5億円	庁舎 エネルギー棟・外構 旧庁舎解体	548,331円/㎡
山形県 Y市中学校	R6~7	22	11,789.76㎡	60.2億円	校舎(RC) 屋内運動場	510,613円/㎡
北海道 S市義務教育学校	R6~7	25	15,801.78㎡	77.0億円	校舎(RC) 屋内運動場 学童保育	487,287円/㎡
大阪府 S市小学校	R6~9	30	9,767.00㎡	57.2億円	校舎(RC)・仮設校舎 屋内運動場 旧校舎解体	585,646円/㎡
埼玉県 H市小学校	R6~7	24	9,859.40㎡	56.8億円	校舎(RC) 屋内運動場 プール	576,100円/㎡

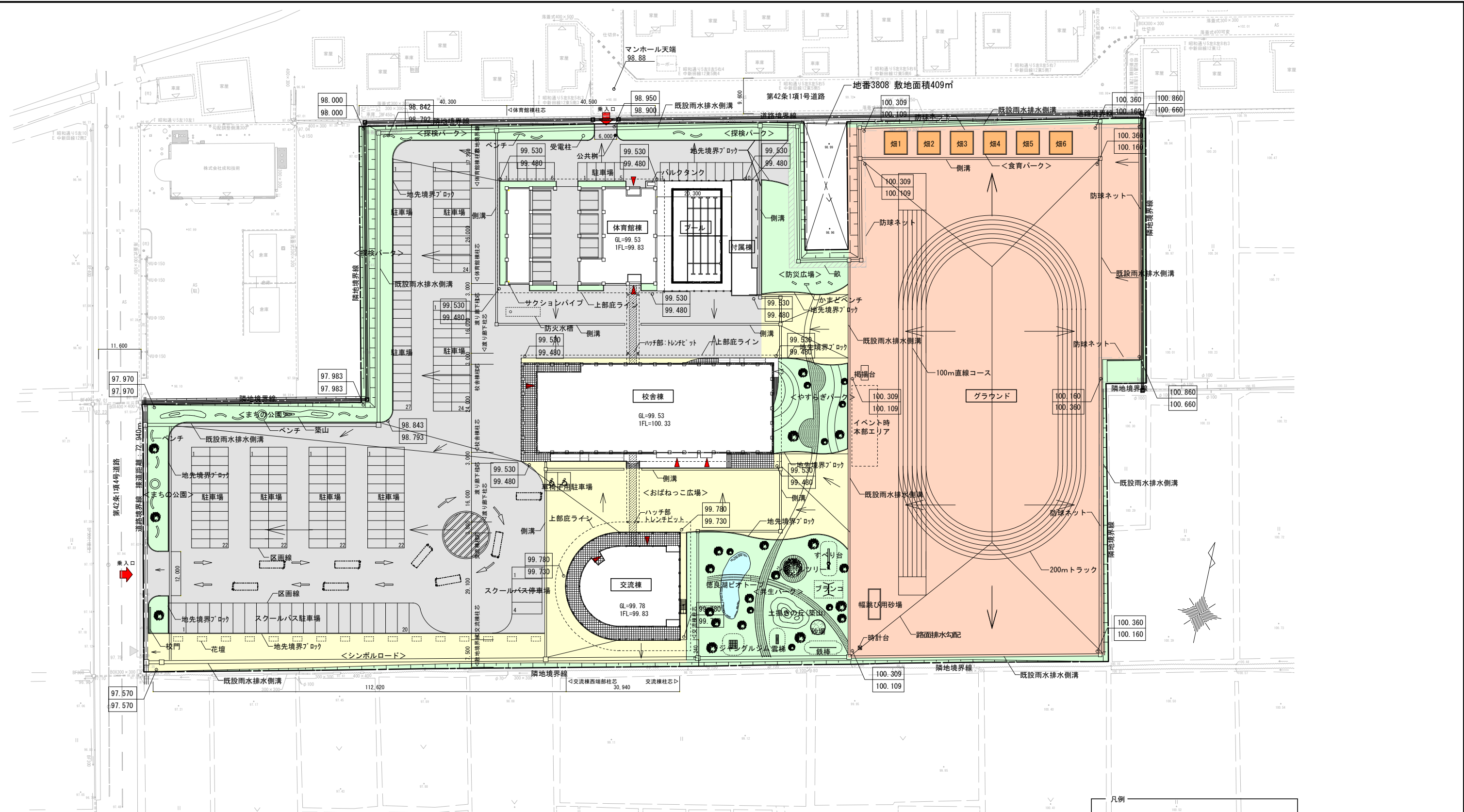
6. 概算事業費の考察と今後の見通し

ロシアのウクライナ侵攻や原油価格の上昇、円安などにより資材の急激な高騰と物価高が続いています。また、少子高齢化と若年層の離職率の高さが影響して人手不足を引き起こし、人材を確保するためにあらゆる分野で賃上げが進み、政府も賃上げを強力に後押ししています。さらに、働き方改革の推進によって、建設業においても労働時間の短縮、週休2日の取得、時間外労働の上限規制が始まっており、その対応として、国の工事においては、諸経費の上乗せが試行されています。

上記のことを背景に、全国の学校建築費は、建築物価の建築費指数において、平成27年を100とした場合、令和6年には29.8%増、建築着工調査において、平成27年を100とした場合、令和5年には47.6%の増となっています。また、今年度発注された他市の学校建設費をみると、いずれも高額なものとなっています。

令和4年から基本構想・基本計画、基本設計を進め、本市で唯一の小学校となる統合小学校には、児童、保護者、教職員、市民が求める「子どもたちにふさわしい教育環境」を盛り込み、「子育て日本一を目指す尾花沢市にふさわしい学校」を計画してきました。

以上のことから、算定された概算事業費は、尾花沢市の大切な宝である子どもたちを末永く育む学び舎を実現するために妥当なものであると考えます。また、今後も建設費の上昇が続くものと推測します。



配置図 S=1:500

駐車場
普通車:200台(ピロティ含む)
スクールバス:24台

凡例

	クレイ舗装:10,763.00m ²
	芝舗装:4,148.00m ²
	カラーアスファルト舗装:3,945.00m ²
	アスファルト舗装:11,291.00m ²
建物部分の合計面積:4,587.55m ²	

== 既設雨水排水側溝

□ 計画高
□ 現況高

※各建物は敷地境界から5.0m以上離れているため、延焼の恐れは生じない。
※各建物間は10m以上離れているため、延焼の恐れは生じない。

株式会社 鈴木建築設計事務所
山形市相生町7-55 TEL023(623)1778代
一級建築士事務所 山形県知事登録 第190号
管理建築士・一級建築士登録第315170号 須藤 智也

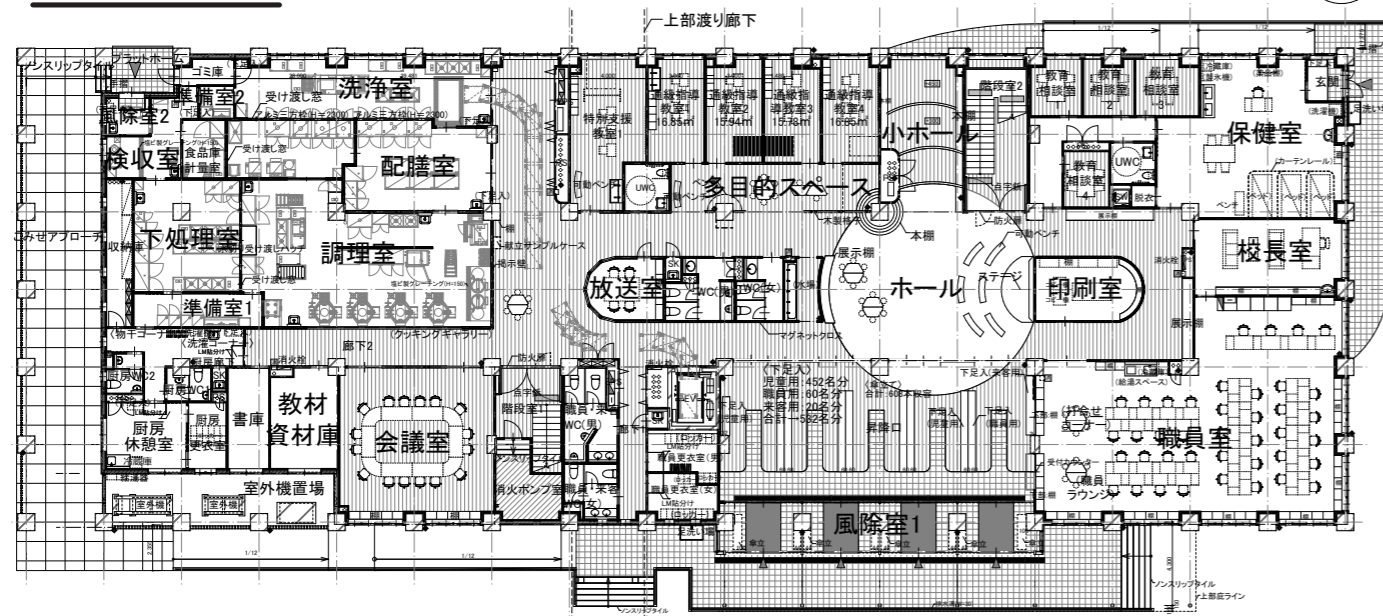
設計年月日 令和7年1月

換図
その他の設計者
1級建築士登録第373707号 千葉 巧也
1級建築士登録第377249号 阿部 佳那

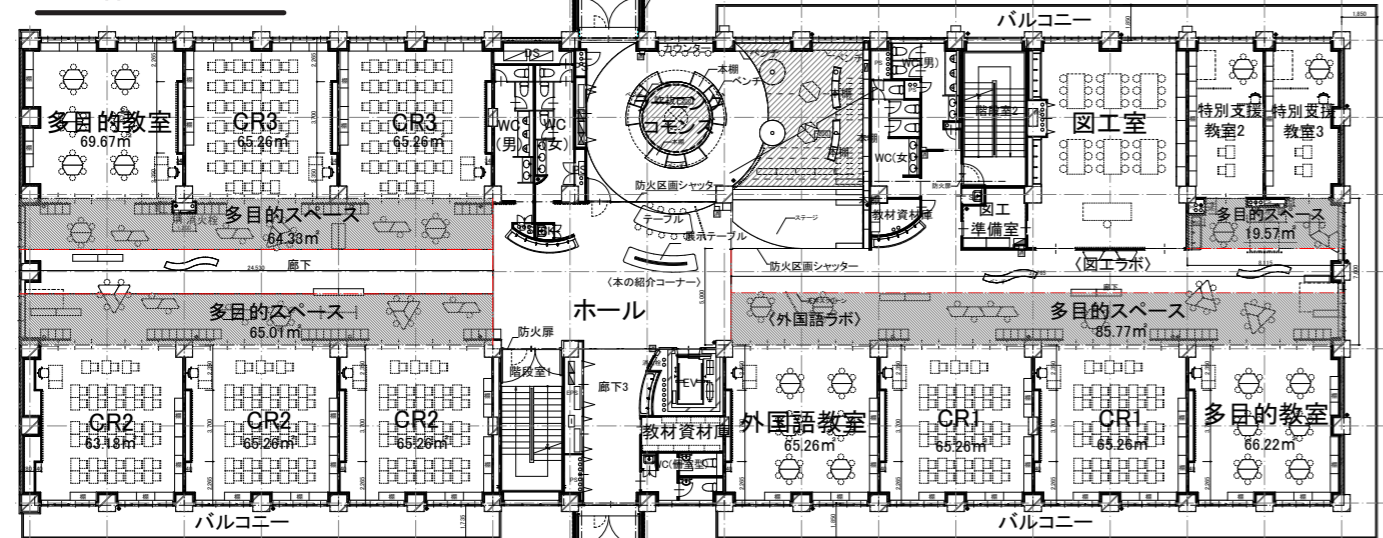
工事名称 【債務負担行為】令和5~6年度尾花沢市統合小学校建設工事
管理番号 2023-007
図面名称 配置図
縮尺 1:500(A1)
1:1000(A3)
図面番号 A-04

校舎棟

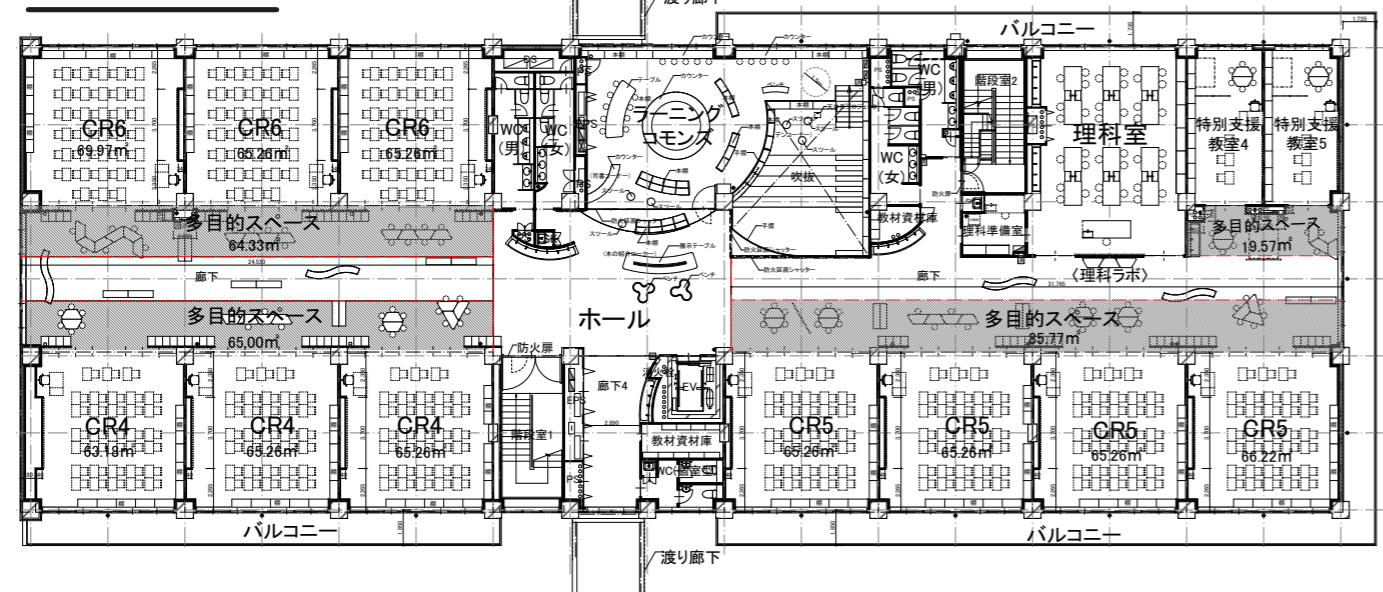
1階平面図



2階平面図

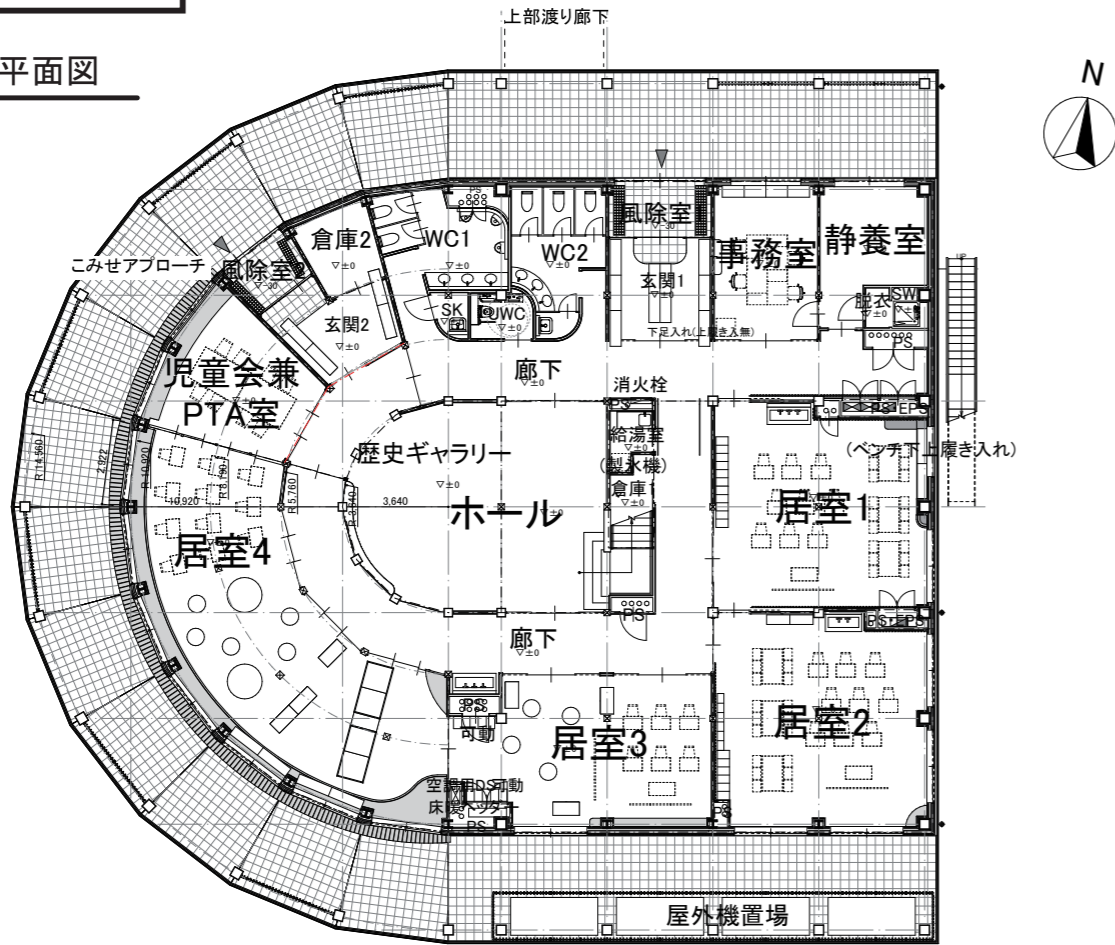


3階平面図

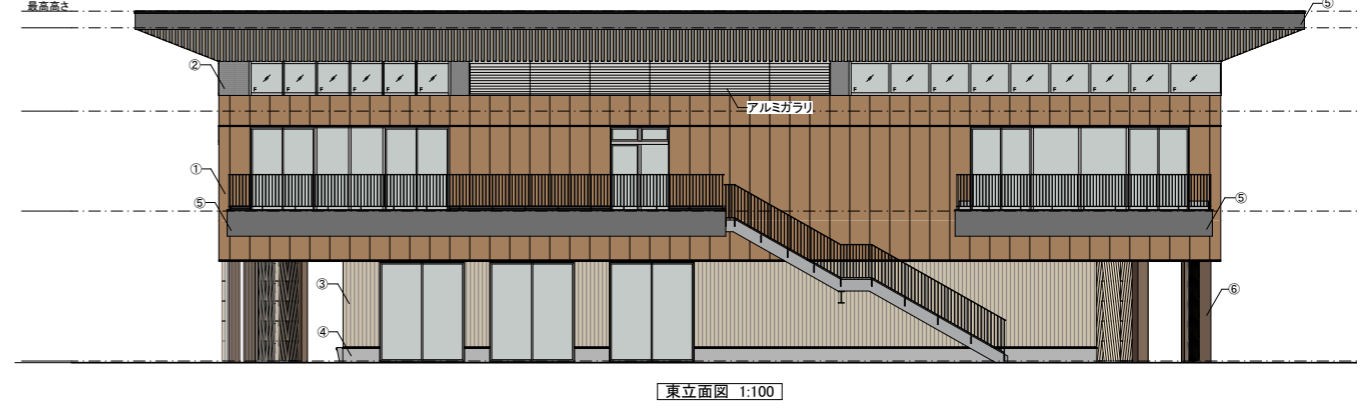
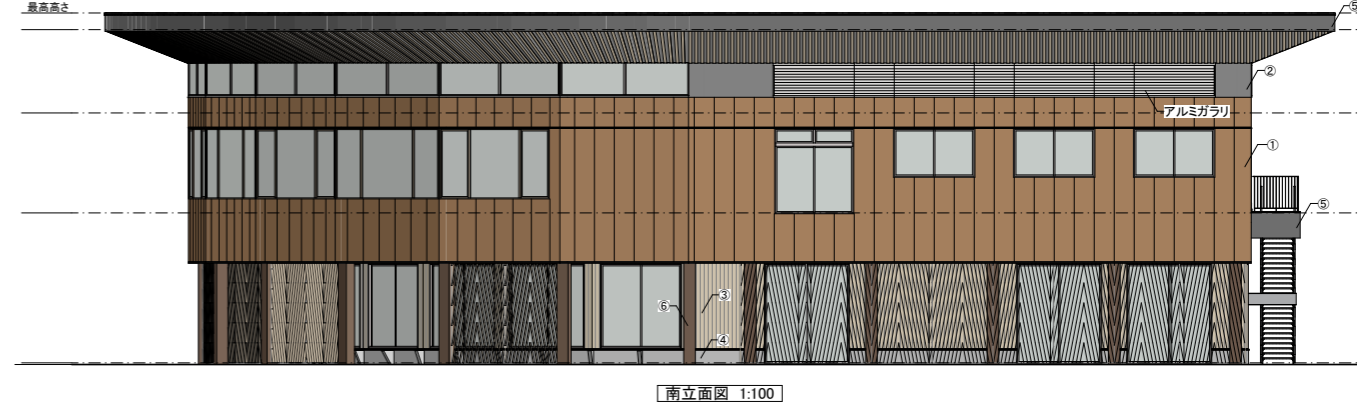
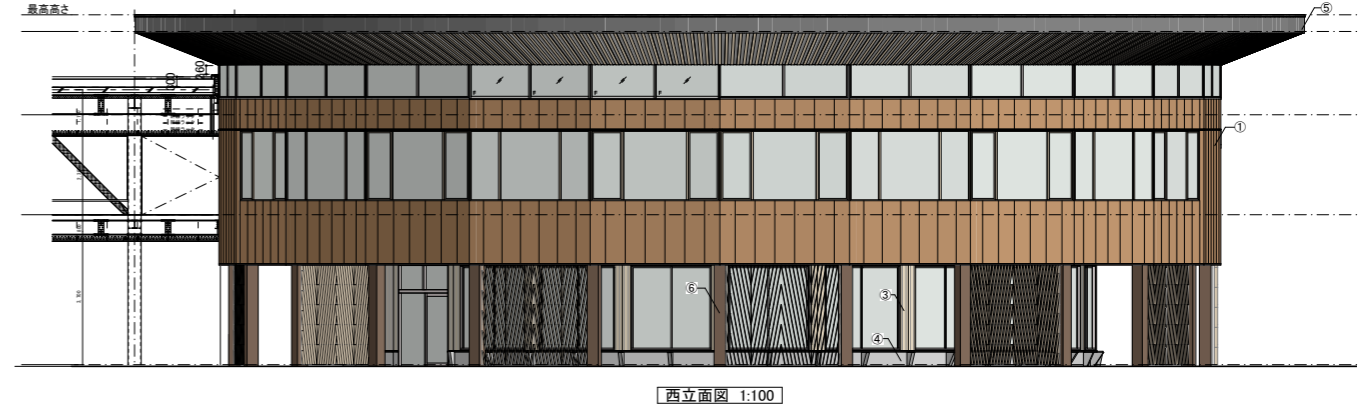
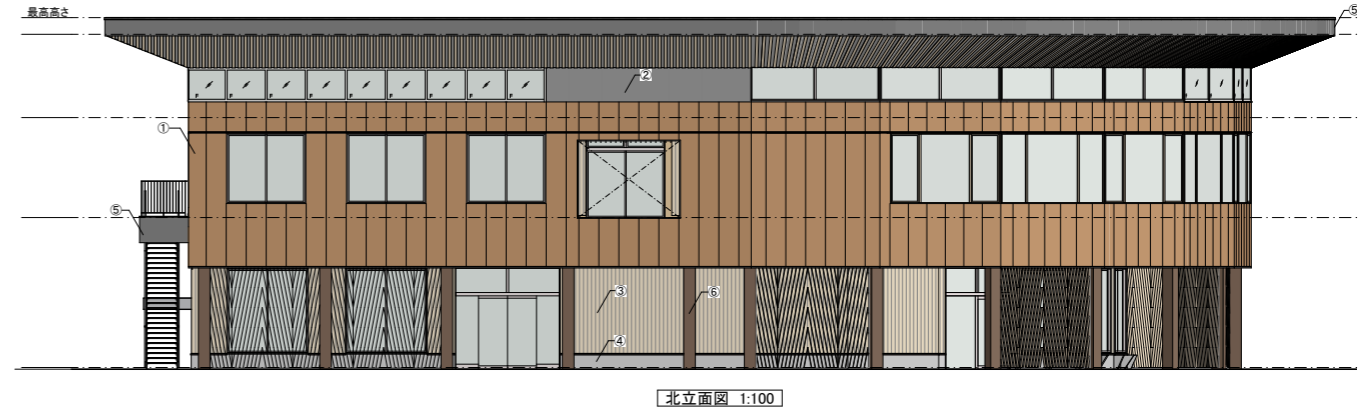
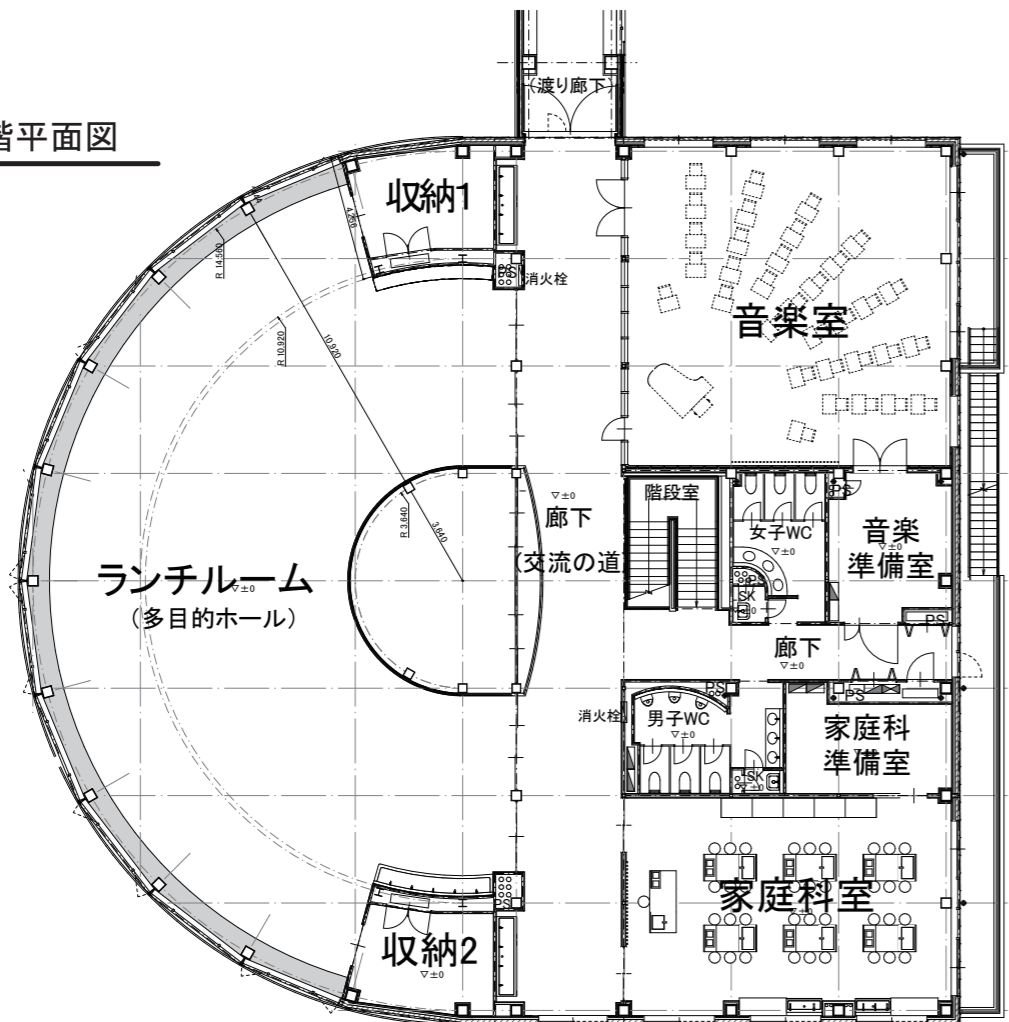


交流棟

1階平面図

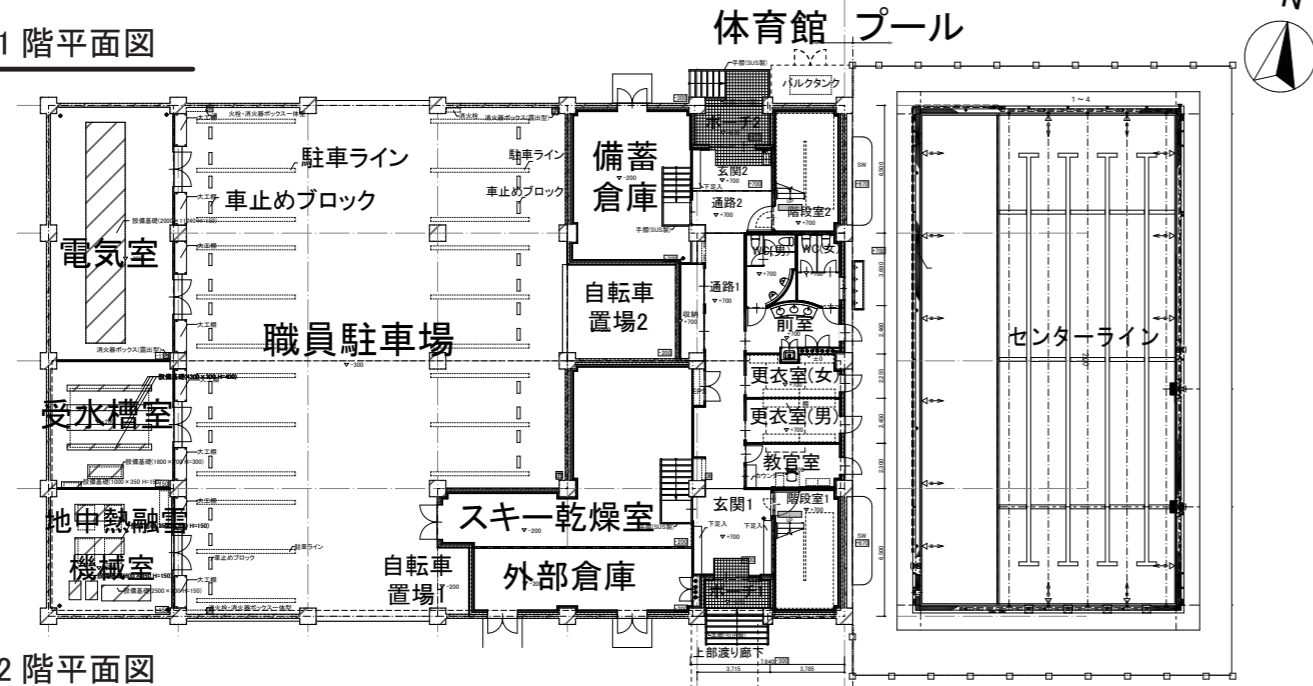


2階平面図

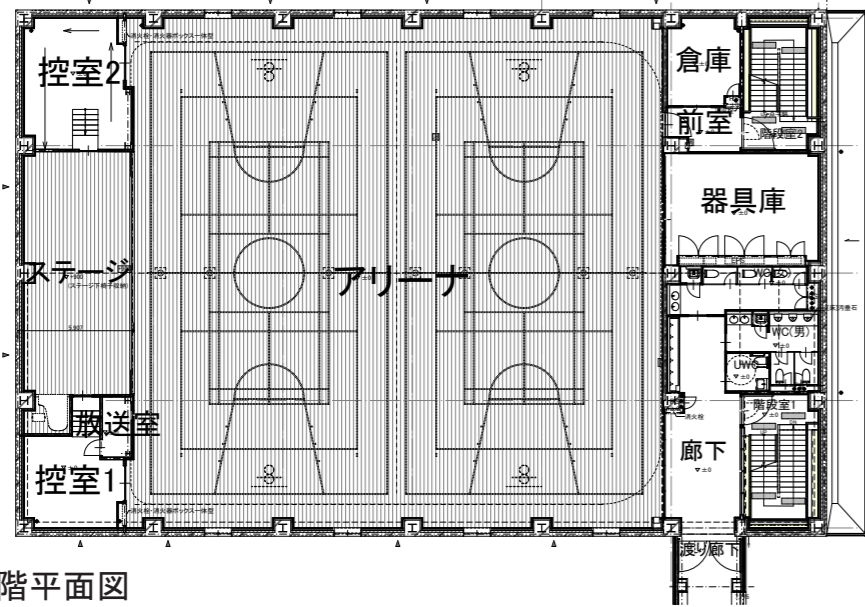


体育館棟

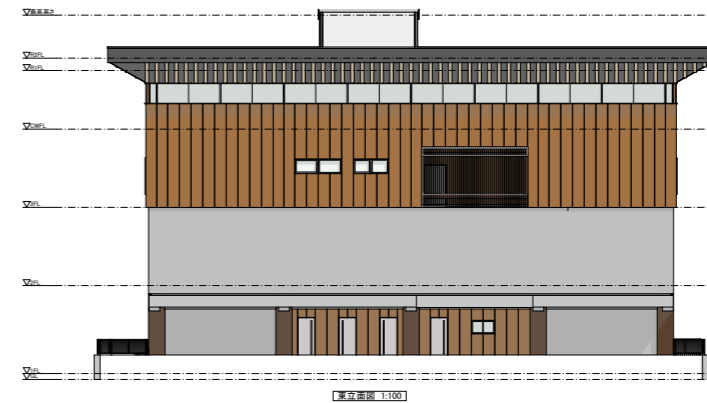
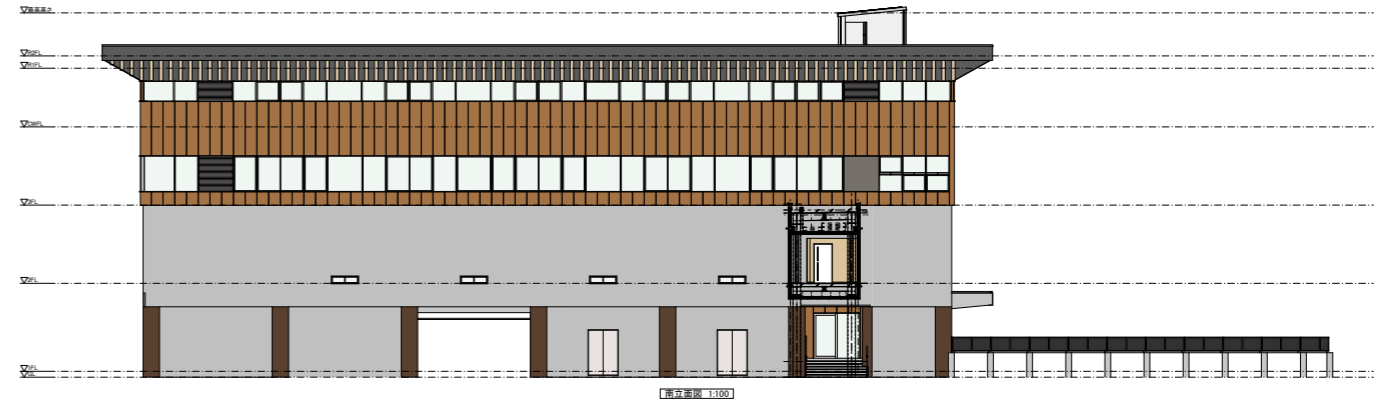
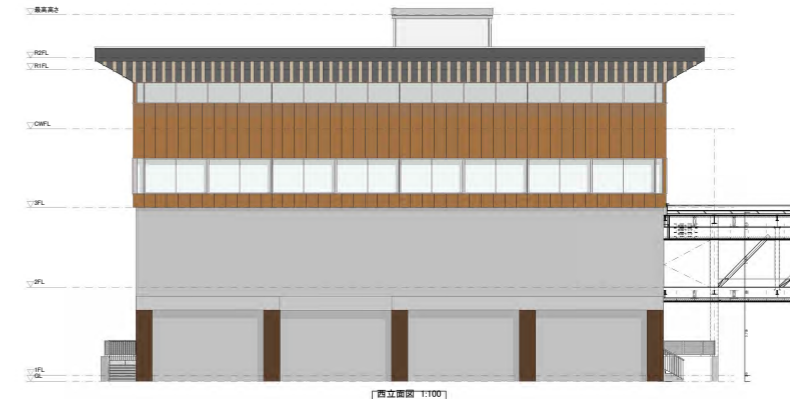
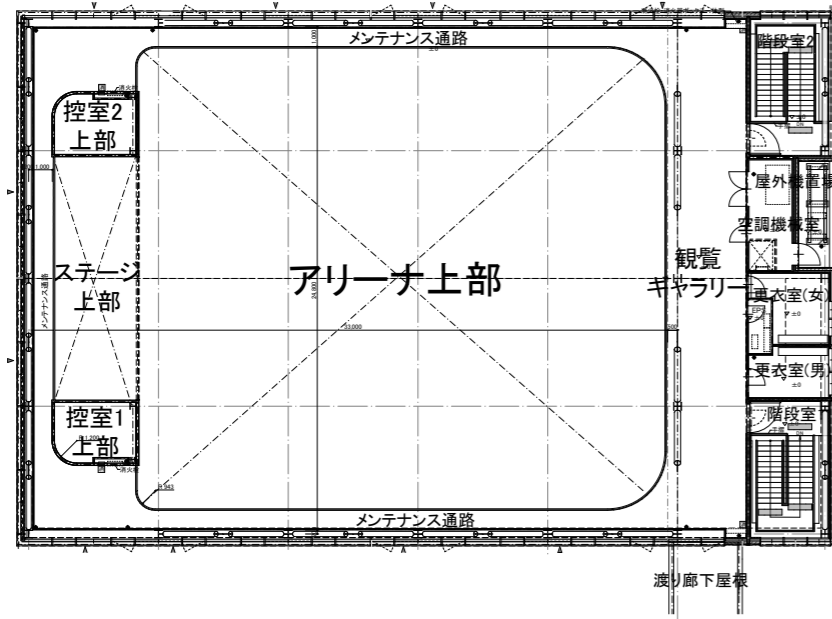
1階平面図



2階平面図



3階平面図



パース図(内観、外観の完成予想を写真のような立体で表現した図)



西側車両出入口から目線の高さで見た外観図



昇降口から入るとバス待合所にも利用できる
おばねギャラリー



普通教室と普通教室の間にある多目的スペース



校舎棟2階中心に位置するラーニングcommons



校舎棟3階中心に位置するラーニングcommons



ラーニングcommonsの2階と3階をつなぐ大階段



交流棟1階の放課後児童クラブ居室4



交流棟2階のランチルーム兼多目的ホール



体育館棟3階の観覧ギャラリー・ランニングロードから
アリーナをのぞむ